

1 中学校美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 評価と評価方法

観点	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1年 内容	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
方法	単元テスト 実技テスト	ワークシート、学習の振り返りや自己評価等の記述内容、活動の様子 自力解決時の様子 観察 作品 ファイル内容	

3 授業計画（1年）

4月	5月	6月	7月
スケッチ 単元テスト、実技テスト		色を学ぶ 単元テスト、実技テスト	
9月	10月	11月	12月
レタリング 絵文字制作 単元テスト、実技テスト		立体表現 単元テスト、実技テスト	
1月	2月	3月	
水彩絵の具表現 単元テスト、実技テスト			

4 授業の進め方

- (1) 前時の内容を振り返り、めあての提示をする。
- (2) 帯活動でクロッキーを行い、観察力、描く力、立体把握力等基礎力の向上につなげる。
- (3) めあてに対して自己の目標をもたせる。
- (4) 自ら考えたり他者の考えに触れて、考えを広げたり深めあたりする時間を設定する。
- (5) ICT等を活用し、視覚的に伝わりやすい提示の仕方を心がける。
- (6) 単元によっては、ICT 端末を活用しての交流も行う。
- (7) 授業終了 5 分前にはめあてに対しての振り返りをし、全体で共有する。

5 授業で使うもの

教科書 資料集 ファイル デザインセット 筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペン、定規）

6 その他

持ち物の準備、片付けをしっかりと行う
忘れ物がないよう心がける